様式第五号（第十二条関係）

収入印紙（消印しないこと。）

言語聴覚士国家試験受験願書

ふりがな 氏　名		性別	男 女	受験番号	※	
生年月日	明治 大正 昭和 平成 令和　年　月　日	本籍（国籍）	都道府県	受験希望地		
現住所	都道府県　市郡区 （郵便番号　—　）　電話番号　（　）					
養成施設名						
最終学歴	学部（学科）　年卒業（見込）					

受験資格（該当項目に○印をつけること。）	資格該当項目			添付書類
	養成施設卒業者（一般・短期）	法第33条第１号		・養成施設修業（卒業）証明書
		法第33条第２号		
		法第33条第３号		
		法第33条第５号		
		法附則第２条		・養成施設修業（卒業）証明書 ・平成10年９月１日現在、養成施設において修業中であったことを証する書類
	指定科目履修者	法第33条第４号		・大学等卒業証明書 ・指定科目履修証明書
	外国養成施設卒業者	法第33条第６号		・厚生労働大臣による受験資格の認定を証する書類
	実務経験者	法附則第３条		・履歴書 ・指定講習会修了証明書 ・実務経験等を証する書類

連絡先	電話番号　（　）　（内線　）

上記により、言語聴覚士国家試験を受験したいので申し込みます。

令和　年　月　日

厚生労働大臣
指定試験機関代表者　殿

氏　名

備考　1　※印欄には、記入しないこと。
2　該当する不動文字を○で囲むこと。
3　黒ボールペンを用い、かい書ではっきりと記入すること。
4　指定試験機関に申し込む場合には、所定の手続により受験手数料を納付し、収入印紙は貼らないこと。
5　修業（卒業）証明書・指定科目履修証明書・実務経験等を証する書類については、それぞれ学校・養成施設・勤務先の長（所属長等）の発行に係るものであること。
6　法附則第２条に該当する者のうち、平成10年９月１日現在、現に養成施設の課程を終えている者にあっては、受験資格を証する添付書類は、養成施設修業（卒業）証明書のみでよいこと。
7　用紙の大きさは、Ａ４とすること。